

(5) 指導案

1 挨拶・自己紹介をしよう

指導者 ()

学 習 活 動	時間	・留意点 ○教材例
<input type="checkbox"/> ①挨拶をする T：おはようございます。（母語で）おはよう。 S：（母語で）おはよう。 T：（Sの顔を見ながら）おはようございます。 （Sの方へ手の平を上にして差し伸べ、あなたも言っ てという気持ちを伝える） S：おはようございます。 T：（笑顔で元気よく）おはようございます。 ・右のテキスト等を使う。 T：（イラストを指さしながら）ありがとう。 （Sの方へ手を差し出し）はい。 S：ありがとう。 ・Tがイラストを指さし、Sが言うように手を差し出す。 他の言葉も同様に進める。 例 <input type="checkbox"/> 「おはようございます」 <input type="checkbox"/> 「こんにちは」 <input type="checkbox"/> 「ありがとう」 <input type="checkbox"/> 「さようなら」 <input type="checkbox"/> 「こんばんは」	13分	・母語の挨拶は事前に調べておく。 ・物を取ってもらったら、「ありがとう」を言うなどと、場面設定して会話をする。 ○挨拶のイラストや絵カード ○「みえこさんのにほんご」P9 ○「こどもの日本語ライブラリ」→基本検索→教材→JYL冊子教材のダウンロードはこちら→会話練習帳
<input type="checkbox"/> ②自分の名前を言う ・Tが自分の名札を指さしながら「わたしは○です」と名前を言う。 ・TがSの側に立って「わたしは（カルロス）です」とSの名前を言い、Sは復唱する。 ・その後の生活場面で、覚えられるようにする。	5分	○「みえこさんのにほんご」P13 ・教室内に別の児童生徒がいれば、その児童生徒を相手に会話することもできる。
<input type="checkbox"/> ③自分の名前を見て分かる ・名前のカードを見せ、Tが読む。 ・1文字ずつTの後について読む。 【活動例】 ・名前カードを上下逆にしてSの前に置き、違いに気付き、正しい位置に戻す。 ・文字と音が一致するように、1文字ずつのカードをばらばらに置き、並べ替える。	10分	○ひらがなで名前を書いたカード、横書きと縦書き2種類（4×15cm程度） 例 <input type="checkbox"/> かるろす ○1文字ずつのカード（4×4cm程度） <input type="checkbox"/> か <input type="checkbox"/> る <input type="checkbox"/> ろ <input type="checkbox"/> す
<input type="checkbox"/> ④自分の名前を書く ・Tは書き順を示す。まず指で書く。次になぞり書きをして形をつかめるようにする。 ・練習を宿題とする。 ○低学年の場合は、書けるようになるまで時間がかかる場合が多いので、書くことは後にしてもよい。	15分	○名前の練習用紙（ノート可） ・なぞり書きをするために、薄く名前を書いておく。 ・宿題の意味を伝えることが難しい場合は、母語支援員等がいる時に説明してもらう。
本時の振り返り ・挨拶のイラストを見て、言葉を言う。 ・「ありがとう」「さようなら」を言い合う。	2分	○本時で使用した挨拶のイラスト等

メモ

担任

2 学校生活をスタートしよう 指導者 ()

学 習 活 動	時間	・留意点 ○教材例
<input type="checkbox"/> ①挨拶をする「よろしくお願いします」ほか前時の復習をする。「おはよう」「わたしは～です」 T：私は〇〇先生です。よろしくおねがいします。 S：わたしはカルロスです。よろ？ T：よろしく。 S：よろしく。 T：おねがいします。 S：おねがいします。 T：よろしくおねがいします（ゆっくりと）。 S：よろしくおねがいします。 T：私は〇〇先生です。よろしくおねがいします。 S：わたしはカルロスです。よろしくおねがいします。 T：（喜びの表情で）よろしくおねがいします！ ・イラストで挨拶表現を知る。	10分	○「こどもの日本語ライブラリ」→基本検索→教材→JYL冊子教材のダウンロードはこちら→会話練習帳1 ・ぶつかったら「ごめんなさい」を言うなど場面設定をして会話をする。 例 <input type="checkbox"/> 「ごめんなさい」 <input type="checkbox"/> 「失礼します」 <input type="checkbox"/> 「失礼しました」
<input type="checkbox"/> ②「いい」「だめ」を言う T：（右のテキスト等を見せ、だめなイラストを指さしながら、困った表情で）だめ。 S：だめ。 T：（よいイラストを指さしながら、微笑んで）いい。 S：いい。 T：（イラストを指さし）いい？だめ？ S：いい（又は だめ）。（ほかのイラストも同様） T：よくできました！（喜びの表情で拍手をする）	10分	○『日本語学級1』P2～5 ○「こどもの日本語ライブラリ」→基本検索→教材→JYL冊子教材のダウンロードはこちら→会話練習帳2 ・○、×の手持ち札を用意しておいて活用することもできる。（本書P30）
<input type="checkbox"/> ③「トイレ(水)いいですか」を言う ・授業中トイレに行こうとするイラストを見て、「いい？だめ？」と問いかけ、だめなことを知る。 ・「トイレに行っていていいですか」を言う。実態によっては「先生、トイレ、いいですか」を言う。 ・「水」も同様に行うが、授業中は「水いいですか」を言っても、「（授業中なので）だめ」と伝える。	10分	○『日本語学級1』P3 ○「こどもの日本語ライブラリ」会話練習帳2 ・トイレの使い方は、初めて登校した日に行く。イラスト（下欄※）や、実際にトイレに行つてジェスチャー等で説明してもよい。
<input type="checkbox"/> ④「給食」「掃除」について知る 本書P45 ・給食・掃除の活動に参加する前に学習するとよい。 ・給食・掃除の活動場面のイラスト（実際の写真）を見る。給食・掃除に関連した言い方を知る。 例 <input type="checkbox"/> はし <input type="checkbox"/> おぼん <input type="checkbox"/> ほうき <input type="checkbox"/> ぞうきん <input type="checkbox"/> いただきます <input type="checkbox"/> ごちそうさま	10分	○豊橋市教育委員会「外国人児童生徒教育資料」→初期適応指導教材 ポルトガル語・タガログ語 ○掃除の実物
本時の振り返り ・本時で学習した語彙や表現を復習する（イラストを見て、言葉を使う。「いいですか」のやりとりをする）。	5分	・学校で共通の挨拶が決まっていれば、それを使って終わりの挨拶を言う。

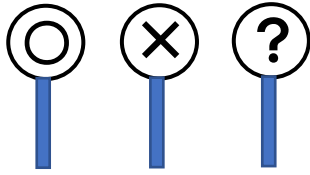
※ ひと目でわかる！教室で使うみんなのことば（文研出版）掲示用素材ダウンロード「トイレの使い方」
<https://www.shinko-keirin.co.jp/bunken/minna/>

メモ

担任

3 数を言おう

指導者 ()

学 習 活 動	時間	・留意点 ○教材例
前時の復習 ・前時に使ったイラストを見せたり、Tが実際に紙を床に捨てたりして、「いい?だめ?」と問いかける。	5分	・授業開始の挨拶をTが言う。
<input type="checkbox"/> ①1から10の言い方が分かる ・低学年の場合は、具体物を数えることから始める。 ・数カードを1～10まで並べる。 T: いち、に、さん、よん、ご、ろく、なな、はち、きゅう、じゅう (と指さしながら読む)。 ・1から順に、一つずつTの後について言う。 ・数カード1～5までなど限定して並べたり、3から並べたりしていろいろなやり方で読む。 ・早く覚えられる場合は、10から逆に言う、カードをばらばらにして言うなどの活動をする。 ・カルタのように、教師が言った数カードを取るゲームをすることもできる。	15分	・国により数字の書き方が違ったり、その国独自の数字を使っていたりすることに注意する。 ○数カード (算数セット) ○小学校1年生の算数プリントを使ってもよい。 ○「ぷりんときっず」→算数プリント: 幼児～1年生→数字の練習 ・1回で全て覚えるのではなくこの後も繰り返し学習して覚えるようにする。
<input type="checkbox"/> ②「わたしは〇歳です」を言う <input type="checkbox"/> 「はい」「いいえ」で答える ・右のテキストを示し、「わたしは～歳です」の言い方を知る。 T: あなたはルイスさんですか (「?札」を見せる)。 S: (おかしいなという表情) T: (×の札を上げながら) いいえ。 あなたはカルロスさんですか。 S: (うなずく) T: (○の札を上げて) はい。 ・Sに札を渡し、年齢を尋ねて「はい」「いいえ」の言い方に慣れるようにする。	13分	○『みえこさんのほんご』P14～17 ・○、×の手持ち札と同様に「?札」も用意しておいて活用することもできる。S用とT用の2セットあるとよい。 
<input type="checkbox"/> ③「ある」「ない」を言う ・Tがおはじきを一方の手の平に置き「ある」と言いながら見せ、もう一方の手の平を見せ「ない」と言う。 ・Tが後ろ手でおはじきをどちらかの手に隠し、「ある?ない?」と問いかけて当てるゲームをする。 ・おはじきをSに渡し、Sが隠す側になり、「ある?ない?」と問いかけ、Tが答える。 ・鉛筆、消しゴムの実物を見せながら、「鉛筆、ある?」等の会話をする。	10分	○『日本語学級1』P14～17 ○おはじきや消しゴムなど手に隠せる物 <input type="checkbox"/> 鉛筆 <input type="checkbox"/> 消しゴム
本時の振り返り ・本時で学習した語彙や表現を復習する (イラストを見て、言葉を言う、年齢を言うなど)。	2分	○本時で使用した数カードやイラストなど
メモ		

日本語初期指導
ぐんぐんプログラム

4 教室の物を知ろう

指導者 ()

学 習 活 動	時間	・留意点 ○教材例
前時の復習 <ul style="list-style-type: none"> ・手におはじきを隠し、「ある？ない？」と聞く。 ・「鉛筆ある？」「消しゴムある？」と聞く。 ・鉛筆等の数を数える。 	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・授業開始の挨拶は、徐々に本人が言うようにする。
<input type="checkbox"/> ①身の回りの物の名前が分かる T：(鉛筆を持ち) 鉛筆？消しゴム？ S：鉛筆。 T：そうです(消しゴムを持ち)。何ですか？ S：消しゴム。 <ul style="list-style-type: none"> ・本を見て「ほん」、ノートを見て「のおと」と知る。 ・Tの後についてSが復唱する。 ・続けて、「机」「椅子」などの名前を知る。 ・物を指さしたり、絵カードを見せたりして、何度も言うことで物の名前を少しずつ覚えられるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 【活動例】 <ul style="list-style-type: none"> ・絵カードでカルタ取りをする。 ・本や鉛筆の一部分だけを見せて「何ですか」に答える。 ・既習の「ある」を使い、「～ある？」に答える。 </div>	15分	○文房具等の実物 ○絵カード(英語科で使うものでも可) ○「ちびむすドリル」幼児知育→文字・言葉・文カード 「ちびむすドリル英語」→絵カード ○「みえこさんのにほんご」 P 20～24 例 <input type="checkbox"/> 机 <input type="checkbox"/> 椅子 <input type="checkbox"/> 黒板 <input type="checkbox"/> 筆箱 <input type="checkbox"/> ドア <input type="checkbox"/> 窓 <input type="checkbox"/> 本 <input type="checkbox"/> ノート <input type="checkbox"/> 時計
<input type="checkbox"/> ②「何ですか」と質問する <ul style="list-style-type: none"> ・Tが「何ですか」に対して、「～です」と言い方を示す。 T：何ですか。 S：消しゴムです。 <ul style="list-style-type: none"> ・答えられなかったらTが答えを言う。テンポよく「何ですか」「～です」とたくさん答えることで、質問と答えの言い方に慣れるようにする。 ・次に立場を交換してSが質問する。 ・クイズで「何ですか」「～です」の会話をする。 	13分	<ul style="list-style-type: none"> ・「何ですか」のときに、？札を示し、合っていたら○札を上げるのもよい。？札をSに渡すことで、立場が入れ替わって質問する側だと示すこともできる。 ・物の上に布をかぶせ、触って何か答えるクイズ、シルエットを描いた絵を見て答えるクイズなどをして楽しい。
<input type="checkbox"/> ③「分かる」「分からない」を言う <ul style="list-style-type: none"> ・Tは、物や既習の文字を見せSに「何ですか」と問いかける。Sが言えたらTが「分かる！」と笑顔で言い、言えなかったら「分からない」と残念そうに言うことで意味を理解できるようにする。その後、実物や絵カードを使って会話をする。 ・Sが「分からない。何ですか」と言ったら名前を教え、質問する方法であることを理解できるようにする。 	10分	○『日本語学級1』 P 48、49を使い、「分かる」「分からない」の意味を理解することもできる。 <ul style="list-style-type: none"> ・Tから質問し、答え方に慣れたら、立場を交換してSが質問する。
本時の振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・本時で学習した語彙や表現を復習する(イラストを見て言葉を言う、「何ですか」の会話をするなど)。 	2分	○本時で使用した文房具や絵カードなど
メモ		

担任

5 身近な人を遊びに誘おう 指導者 ()

学 習 活 動	時間	・留意点 ○教材例
前時の復習 ・「何ですか」とTが問いかけ、Sが答える。 ・分からない時は「分からない」と言うことを復習し、名前を覚えていない物で会話をする。	5分	○前時で使用した文房具や絵カードなど
<input type="checkbox"/> ①身近な人の言い方が分かる ・写真や絵カード、ペープサート（紙人形）を使い、身近な人の言い方を知り、Tの後についてSが言う。 例 <input type="checkbox"/> 先生 <input type="checkbox"/> 友達 <input type="checkbox"/> 家族 <input type="checkbox"/> お父さん <input type="checkbox"/> お母さん <input type="checkbox"/> お兄さん <input type="checkbox"/> お姉さん <input type="checkbox"/> 弟 <input type="checkbox"/> 妹 <input type="checkbox"/> おじいさん <input type="checkbox"/> おばあさん ・次の「誰ですか」「～です」と合わせて、会話をする。	8分	○「みえこさんのにほんご」P20 ○『にほんごをまなぼう』P99 ○担任や友達の写真を撮っておき、使うもよい。 ○「こどもの日本語ライブラリ」→指導計画例→低・会話編28「家族のこと」絵カード「家族」でペープサートを作成するとよい。
<input type="checkbox"/> ②「誰ですか」と質問する T：誰ですか。 S：お父さんです。 ・この時、答えられなかったら教える。テンポよく、「誰ですか」「～です」とたくさん答えることで、質問と答えの言い方に慣れるようにする。 ・立場を交換し、Sが質問する。	15分	・身近な人の言い方と合わせて会話をする。
<input type="checkbox"/> ③「入れて」「～しよう」を言う ※地域や発達段階により「わたしもいい？」等、実際に使う言葉を取り上げる。 ・遊びに入りたそうにしている人物のイラストを見て、どんな会話をしているか、Tが演じる。 ・友達が遊んでいる時に「入れて」を言うことを知る。 ・実際に周りの児童生徒が休み時間によくしている遊びの名前を知る。 ・「～しよう」の言い方と答え方を知り、会話をする。 （例：「ドッジボールしよう」「いいよ」） ・裏返しにした遊びの絵カードを引いて、出てきた遊びで会話をする。TとSが立場を交換して会話をする。	15分	○『にほんごをまなぼう』P28、29 ○「こどもの日本語ライブラリ」→指導計画例→低・会話編28「家族のこと」 ・断りの言い方（「ごめん、だめ、勉強」等）を同時に教えられるとよいが、難しい場合は聞かせる程度とし別の機会に取り扱う。
本時の振り返り ・本時で学習した語彙や表現を復習する（イラストを見て言葉を言うなど）。	2分	○本時で使用した写真や絵カードなど

メモ

日本語初期指導
ぐんぐんプログラム

6 学校の場所を知ろう

指導者 ()

学 習 活 動	時間	・留意点 ○教材例
前時の復習 ・「誰ですか」とTが問いかけ、Sが答える。 ・分からない時は「分からない」と言うことを復習し、Sが質問してTが答える会話をする。	5分	○前時で使用した写真や絵カードなど
<input type="checkbox"/> ①教室等の名前が分かる T：(学校の写真等を示し) ここは学校です。 がっこう (ゆっくり言う)。 S：がっこう。 T：(Sが分かりそうな場所を選んで写真を指し) いっしょに行きましょう (と手招きをして誘う)。 ・「ここは廊下です」や「ここは図書室です」など、その場所で名前を知る。その際、教室配置図があればSが印を付けるようにするのもよい。 ・担当の教職員がいる教室等では、挨拶をする。 S：こんにちは。わたしはカルロスです。	20分	・実際に学校を巡る。その際写真を撮っておくと復習のとき役立つ。 ○「こどもの日本語ライブラリ」→指導計画例→高・会話編10「学校めぐり」絵カード『にほんごをまなぼう がっこう』 ○「みえこさんのにほんご」P32 ○『にほんごをまなぼう』P36、37
<input type="checkbox"/> ②「どこですか」が分かる T：トイレはどこですか (指であちこち指し、探している様子を表す)。どこですか? (と何度も言い、キョロキョロと探すそぶりをする) S：(指を指す) T：そうですね。 廊下はどこですか (言葉が分からない様子だったら、写真等を見せる)。 S：(指を指す)	5分	・前の活動と合わせて行ってもよい。 ・「どこですか?」と分からない様子で、探すジェスチャーをオーバーにしながら、少し「どこ」を強めに言う。何度か「どこですか」を聞かせることで、意味を理解できるようにする。
<input type="checkbox"/> ③「ここ」「そこ」「あそこ」を言う ・鉛筆、ノートなどを教室内のあちこちに置き、Tが「～はどこですか」と聞く。Sが指を指したら、位置に合わせて、Tが「ここ」「そこ」「あそこ」と言う。 ・「ここ、そこ、あそこ」と指さしながら、リズムカルに言い、場所と言葉が一致するようにする。 ・既習の語を使って「～はどこですか」と問いかけ、答える会話をする。	10分	○『日本語学級1』P58、59 ・Sに近い所を「ここ」、少し離れた所を「そこ」、遠いところを「あそこ」と示す。
本時の振り返り ・本時で学習した語彙や表現を復習する (写真等を見て言葉を言う「どこですか」に答えるなど)。	5分	○本時で使用した写真や絵カードなど

メモ

7 勉強の言葉を知ろう 指導者 ()

学 習 活 動	時間	・留意点 ○教材例										
前時の復習 ・写真等を見て場所の名前を言う。「～はどこですか」とTが問いかけ、Sは「あそこ」等と答える。	5分	○前時で使用した写真や絵カードなど										
<input type="checkbox"/> ①指示の言葉が分かり、行動する T：鉛筆、ある？ S：ある。 T：出して（ジェスチャーで筆箱から出すよう促す）。ノートを出して。 S：（机から出す） T：しまって（ジェスチャーでしまうよう促す）。 ・Tは「立って」「座って」なども動作で表現し、Sは立つ、座る動きをする。「聞いて」は耳に手を当てる、「見て」は双眼鏡で見る様子を表すなどポーズを決めておき、Sはまねをする。 ・Tは言葉とジェスチャーで指示し、Sはジェスチャーをする。慣れてきたらTは言葉のみで指示する。次第に指示を速くしたり、Tが指示の言葉を言うが、違うジェスチャーをしたりする。	15分	○「こどもの日本語ライブラリ」→指導計画例→高・会話編4絵カード「動詞」 ○『日本語学級1』P30、31 例 <table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 出して</td> <td><input type="checkbox"/> しまって</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 立って</td> <td><input type="checkbox"/> 座って</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 来て</td> <td><input type="checkbox"/> 見て</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 聞いて</td> <td><input type="checkbox"/> 読んで</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 書いて</td> <td></td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 出して	<input type="checkbox"/> しまって	<input type="checkbox"/> 立って	<input type="checkbox"/> 座って	<input type="checkbox"/> 来て	<input type="checkbox"/> 見て	<input type="checkbox"/> 聞いて	<input type="checkbox"/> 読んで	<input type="checkbox"/> 書いて	
<input type="checkbox"/> 出して	<input type="checkbox"/> しまって											
<input type="checkbox"/> 立って	<input type="checkbox"/> 座って											
<input type="checkbox"/> 来て	<input type="checkbox"/> 見て											
<input type="checkbox"/> 聞いて	<input type="checkbox"/> 読んで											
<input type="checkbox"/> 書いて												
<input type="checkbox"/> ②「きょう・きのう・あした」を言う T：見て（と言って、カレンダーを見せる）。（母語で）きょう（カレンダーの日付を指す）。（続けて日本語で）きょう。 S：きょう。 ・同様にカレンダーの明日の日付を指して「あした」、昨日の日付を指して「きのう」と言う。 ・人差し指を出し、正面を指して「きょう」左を指して「きのう」右を指して「あした」と言う。これをテンポよく「きょう・きのう・あした」と繰り返し言う。	10分	○カレンダー（教室にある普通の物でよい） ○「ちびむすドリル」→幼児知育→カレンダー ・事前に母語の「今日」を調べておく。										
<input type="checkbox"/> ③教科名が分かる ・教科カードや教科書を見て、「国語」「算数」などを知る。学年により、扱う教科名を選択しておく。 ・カードを見て教科名をTが言い、Sは復唱する。 ・時間表を見ながら「今日、体育ある？」「明日、国語ある？」「○時間目、何？」などと聞き、Sが答える。	10分	○初級の児童生徒向け教材「ともだちになろう！」3-2、3-3 ○『日本語学級1』P34、35 ○実際に使っている時間表にルビを振ったもの										
本時の振り返り ・本時で学習した語彙や表現を復習する（指示の言葉を聞いて動くなど）。	5分	・カレンダーは常時教室に掲示しておく。										

メモ

8 遊び方を聞こう

指導者（ ）

学 習 活 動	時間	・留意点 ○教材例
前時の復習 ・教科カードを見て教科名を言う。「見て」「聞いて」などTが指示し、Sはそのジェスチャーや行動をする。	5分	○前時で使用した絵カード等
<input type="checkbox"/> ①「できる」「できない」を言う ・Tがお手玉を楽しそうにやる。Sがやりたそうな様子だったら、次のように言う。 T：い？ いれ？（「入れて」と言えるようにヒント） S：入れて。 T：どうぞ。 S：（お手玉をする） T：（Sができたなら、すごいという表情で）できる！（できなかつたら、残念そうに）できない。 ・けん玉でも同様に行い、「できる」「できない」の意味を理解できるようにする。 ・遊びやスポーツの絵等を見せ、「できる？できない？」とTが質問し、Sが答える。 ・イラストを使用して「ドッジボール、できる」、「なわとび、できない」などの会話をする。	15分	○お手玉やけん玉など室内でできる遊びの道具 ○「こどもの日本語ライブラリ」→指導計画例→低会話編21絵カード「遊び」 ○『にほんごをまなぼう』P29 ・母国でよく行われているスポーツや遊びを調べておき「クリケット、できる？」等と話題にするのもよい。 ・その教室内に別の児童生徒がいれば、その児童生徒を相手に会話することもできる。
<input type="checkbox"/> ②「こう・そう・ちがう」が分かる T：（折り紙で紙飛行機や紙鉄砲を作っているところを見せ、できたら飛ばしたり、音を鳴らしたりする） S：入れて。 T：（折るジェスチャーをしながら）やる？ S：はい。 T：どうぞ（と言って折り紙を手渡す）。 見て、こう。 S：（まねをして折る） ・Tは教えながら「こう」と声を掛け、Sができたなら「そう！」違う時は「ちがう」と言い、Sがたくさん聞けるようにする。 ・『日本語学級1』を使い、吹き出しに合う言葉をSが答えることもできる。	20分	○折り紙 ○『日本語学級1』P32、33 ・「できる」の活動で聞いたSができる遊びを教えてもらい、Tからやり方を「こう？」と聞き、Sが「そう」「違う」と答える活動もできる。 ・既習の「見て」、「聞いて」なども活用する。
本時の振り返り ・本時で学習した語彙や表現を復習する。Tが「～できる？」と質問し、Sが答えるなど。	5分	○本時で使用したテキストやイラストなど

メモ

9 食べ物・飲み物の名前を知ろう 指導者()

学 習 活 動	時間	・留意点 ○教材例
前時の復習 ・前時に使ったイラストを見せたり、TがSの「できる」「できない」ことを示したりして、「できる?」「できない?」と問いかけ、復習する。	5分	○前時で使用したテキストやイラストなど
<input type="checkbox"/> ①食べ物や飲み物の名前が分かる ・食べ物や飲み物の実物や模造品、イラストを順番に指さしながら物の名前を言い、Sが復唱する。 例 □バナナ □りんご □ぶどう □ごはん □トマト □きゅうり □にんじん □ピーマン □牛乳 □ジュース □お茶 □水	10分	○食べ物の模造品 ○「ちびむすドリル」幼児知育→文字・言葉・文カード→仲間の言葉 ・1回で全て覚えるのではなくこの後も繰り返し練習して覚えるようにする。
<input type="checkbox"/> ②「食べる」「食べない」を言う T：(バナナをむく動作をして、もぐもぐ食べるまねをして見せ) 食べる。 S：(Tのまねをしながら一緒に) 食べる。 T：(ふでばこをもち、口に運ぶが口を真一文字に閉じて困った顔をして) 食べない。 (次に鉛筆を見せ) 食べる? 食べない? S：食べない。 ・このようなやり取りをし、「食べる」「食べない」の言い方を知る。ほかの食べ物でも繰り返す。 T：(絵カード等を指さし) 食べる? 食べない? S：(自分の経験を振り返り) 食べる(食べない)。 ・慣れてきたらTとSの立場を交換する。	15分	○食べ物の模造品や絵カード(家庭科や英語科で使うものでも可) ○『日本語学級1』P78、79、81 ・発達段階においては「食べる」だけではなく、「バナナを食べます」と教えてもよい。
<input type="checkbox"/> ③「飲む」「飲まない」を言う ・「食べる」「食べない」と同様に「飲む」「飲まない」の言い方を知る。 T：(ペットボトルや絵カードを見せ、飲むまねをしながら) 飲む S：(Tの言い方をまねして) 飲む	7分	○ペットボトル等 ○飲み物の模造品や絵カード(家庭科や英語科で使うものでも可) ○『日本語学級1』P80、81
本時の振り返り ・本時で学習した語彙を復習する。 ・「食べる」「食べない」「飲む」「飲まない」のカードを混ぜ、復習する(イラストを見て、言葉を使うなど)。	8分	○本時で使用した絵カードやイラストなど
メモ		

担任

10 好き・好きじゃないを伝えよう 指導者 ()

学 習 活 動	時間	・留意点 ○教材例
前時の復習 ・本時に関連して、前時で学習した食べ物・飲み物名、「食べる」「食べない」「飲む」「飲まない」を復習する。	5分	○前時で使用した絵カードやイラストなど
<input type="checkbox"/> ①「好き」「好きじゃない」が分かる T：(バナナの絵カードを指さし) バナナ、好き。 (笑顔で言う。いくつかの食べ物で同様に行く。好きな時は、たくさん頬張る仕草をしてもよい) T：(ピーマンの絵カードを指さし) ピーマン、好きじゃない(嫌そうな顔で言う)。 T：好き(笑顔で)。 S：好き(Tに続いて復唱する)。 T：好きじゃない(嫌そうに)。 S：好きじゃない(Tに続いて復唱する)。 T：(絵カードを順番に指さして聞いていく)。 これ、好き?好きじゃない? S：好き(好きじゃない)で答える。	10分	○食べ物の絵カード(家庭科や英語科で使うものでも可) ○「ちびむすドリル」幼児知育→文字・言葉・文カード→仲間の絵カード【仲間ことば】→果物・野菜 ・「好き」「好きじゃない」が表情で伝わるように、オーバーに表現し、ジェスチャーで言葉の意味を理解できるようにする。
<input type="checkbox"/> ②動物の名前が分かる ・イラストや絵カードなどを使い動物の名前を知る。 例 <input type="checkbox"/> 犬 <input type="checkbox"/> 猫 <input type="checkbox"/> 猿 <input type="checkbox"/> ねずみ <input type="checkbox"/> うさぎ <input type="checkbox"/> へび <input type="checkbox"/> かえる <input type="checkbox"/> 馬 <input type="checkbox"/> 牛 <input type="checkbox"/> 豚	10分	○「ちびむすドリル」幼児知育→文字・言葉・文カード→言葉の絵カード【仲間のことば】→動物
<input type="checkbox"/> ③「好きですか？」に答える T：犬が好きですか? S：好き。 T：犬が好き。 S：犬が好き。 T：へびが好きですか? S：好きじゃない。 T：へびが好きじゃない。 S：へびが好きじゃない。 ・このようなやり取りを他の動物でも行う。 ・次に、SがTにインタビューする。 S：(先生は)、猫が好きですか? T：好きじゃないです。	15分	○前の活動で使った絵カード等 ・その教室内に別の児童生徒がいれば、その児童生徒を相手にインタビューすることもできる。 ・この段階では「好き」「好きじゃない」と言えればよい。「嫌い」という言い方でもよい。
本時の振り返り ・本時で学習した語彙をゲームで復習する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> [活動例] まず、絵カードを5枚並べ日本語で言う。次に、教師が1枚カードを隠し、なくなったカードを当てる。 </div> ・「好きですか？」の会話を復習する。	5分	○本時で使用したイラストや絵カードなど

メモ

11 月日・曜日を伝えよう

指導者 ()

学 習 活 動	時間	・留意点 ○教材例
前時の復習 ・絵カードを見て動物の名前を言う。 ・「～が好きですか」と問いかけ、「～が好き」「～が好きじゃない」の会話を復習する。	5分	○前時で使用したイラストや絵カードなど
<input type="checkbox"/> ①「今日は○月○日○曜日」を言う T：(カレンダーを見せ) きょう、どこ？ S：ここ (指を指す)。 T：今日は、(月のところを指し) ○月 (日付を指し) ○日です。 ・Sが○月○日と言えたらカレンダーを見て、1月～12月の言い方を知る。 ・日付は「いちにち」のように数に「にち」を付ける言い方で言う。「ついたち」「ふつか」の言い方はこの段階では取り上げない。 ・カレンダーを使い、曜日の言い方を知る。 ・リズムカルに「にち、げつ、か、すい、もく、きん、ど」と言う、曜日の歌を歌うなどして曜日の言い方に慣れるようにする。	15分	○カレンダー ○「みえこさんのにほんご」P 40～44 ○動画サイトで「日本語曜日の歌」、「Days Of The Week in Japanese」などで検索して利用するのもよい。 ・今後、毎日挨拶の後に「今日は○月○日○曜日です」を言うことで、徐々に覚えられるようにする。
<input type="checkbox"/> ②学習や生活に必要な物の名前が分かる ・第7時で学習した教科名を復習する。 ・第7時で扱えなかった教科名を知る。 ・第3時で学習した文房具等の名前を復習し、更に学習や学校生活に必要な物の名前を知る。 例 <input type="checkbox"/> ランドセル <input type="checkbox"/> かばん <input type="checkbox"/> 教科書 <input type="checkbox"/> 帽子 <input type="checkbox"/> 靴 <input type="checkbox"/> 上履き <input type="checkbox"/> 傘 <input type="checkbox"/> 水筒 <input type="checkbox"/> はさみ <input type="checkbox"/> のり	10分	○学用品等の実物や絵カード、教科カード ○「みえこさんのにほんご」P 23、24 ・絵カードを使って、カルタ取り等をする。
<input type="checkbox"/> ③「忘れた」「貸して」を言う T：(困っている表情のイラストを示し) 鉛筆、ある？ S：ない。 T：ないですね。(イラストの子供が言うように) 鉛筆を忘れました。 S：鉛筆、忘れました。 T：鉛筆を忘れました。 S：鉛筆を忘れました。 T：○さん、貸してください(手をSの方に差し出す)。 S：(鉛筆をTに渡す) T：ありがとう。 ・次にSが鉛筆を持っていない設定にして、同じやりとりを行う。ほかの持ち物でも会話をする。	10分	・実際に忘れ物をした時に、再度指導する。 ○「こどもの日本語ライブラリ」→指導計画例→低・会話編18絵カード「忘れ物」 ○『日本語学級1』P 74、75 ・貸す時に「どうぞ」貸してもらったら、「ありがとう(ございます)」を言うことも教える。
本時の振り返り ・本時で学習した語彙や表現を復習する。	5分	○本時で使用した絵カード等

メモ

担任

12 危険を知ろう

指導者 ()

学 習 活 動	時間	・留意点 ○教材例
前時の復習 ・日付・曜日の復習をする。 ・学用品等の名前を復習する。	5分	・今後は挨拶の後に「今日は○月○日○曜日です」を言うこととする。
<input type="checkbox"/> ①「いる」「いない」を言う T：(食べ物の絵カードを見せ) いる? いない? (鉛筆とフォークを出す) S：(フォークを指さす) T：いる (と言ってフォークを渡す)。 いない (と鉛筆を置く)。 ・このような場面を示し、会話をする (晴れの時、傘の絵、紙を切ろうとする時にのりの絵を見て会話するなど)。 ・『日本語学級1』のイラストを使うこともできる。	10分	○『日本語学級1』 P20～P23 ○文房具や学用品の実物や絵カード (英語科で使う物でも可) ○教科カード又は教科書 ・実際の生活に即した場面を想定して練習してもよい。 例 体育の絵カードを示し、「帽子、いる?」
<input type="checkbox"/> ②方向の言い方が分かる ・紙コップを伏せて横に3つ並べ、Tが指さして「右、左、真ん中」の言葉を言う。 ・SとTが同じ方向を向いて並んで立ち、言葉を言いながら指さして「上、下、右、左」を確認する。 ・紙コップの一つにおはじきを隠し、「どこですか」と問いかけ、「右」と答えるゲームをしたり、実際に動いたりしながら、方向の言い方に慣れるようにする。 例 □右 □左 □真ん中 □前 □後ろ □上 □下	15分	○紙コップ3個、おはじき ○絵カード (英語科で使うものでも可) ○『日本語学級1』 P60～P63 ・フォークダンス「ジェンカ」で、「右、右、左、左、前、後ろ、トントントン」などと声を出しながら踊ると楽しく覚えられる。
<input type="checkbox"/> ③「あぶない」「止まれ」が分かる ・道路のイラストを示しTが歩く動作をしながら「歩くのは右?左?」と問いかける。 ・右であることを確認し、自転車についても聞く。 ・「止まれ」の標識を見て意味を知る。 T：(車道に飛び出すイラストを見せ) いい? だめ? S：だめ。 T：そうです (うなずく)。だめです。 (制止するジェスチャーをして) 危ないです。 ・「止まれ」で一時停止し、右左を見ることを知る。	10分	○道路に信号機、標識、自動車、自転車などがあるイラストや絵カード ○「こどもの日本語ライブラリ」→指導計画例→低・会話編33絵カード「交通安全」 ・床にテープを貼って道路を作って、「止まれ」で止まり、右左を見るなど実際に動くのもよい。
本時の振り返り ・本時に学習した語彙や表現を復習する (「いる」「いない」のやりとりをする、方向を言うなど)。	5分	○本時で使用したイラストや絵カードなど

メモ

13 誰の持ち物が伝えよう

指導者()

学 習 活 動	時間	・留意点 ○教材例
前時の復習 ・「いる」「いない」方向の言い方を復習する。	5分	○前時で使用したイラストや絵カードなど
<input type="checkbox"/> ① 天気 の言い方が分かる T：今日は？（カレンダーを指す） S：今日は○月○日○曜日です。 ・言えなかったら、Tが言い、Sは復唱する。 T：（空を指し）天気は？（と言って何枚かの天気の絵カードを見せる） S：（カードを選ぶ） T：晴れです。 ・そのほかの天気の言い方を知る。 ・「今日は○月○日○曜日、天気は～です」と言えるよう何度か繰り返し言う。 例 <input type="checkbox"/> 晴れ <input type="checkbox"/> 曇り <input type="checkbox"/> 雨 <input type="checkbox"/> 雪	15分	○「ちびむすドリル幼児」→[カレンダーワーク]月・日付・曜日・天気カード（英語科で使う物でも可） ・今後、毎日挨拶の後に「今日は○月○日○曜日、天気は～です」を言うことで、徐々に覚えられるようにする。
<input type="checkbox"/> ② 「誰のですか」 が分かる <input type="checkbox"/> 「わたしのです」「○さんのです」 を言う ・袋（箱）から、TがSの消しゴムを取り出す。 T：（分からない素振りで）誰のですか（消しゴムを持って見せながら言う） S：（手を出して取ろうとするなどする） T：ああ、○さんの（やや「の」を強めに）わたしのです。 S：わたしのです。 T：どうぞ（別の消しゴムを取り出し、少し見せる）誰のですか。 S：せんせい。 T：先生の？（名前を見て）いいえ、○さんのです（別の消しゴムを取り出し）誰のですか ○さんの？○さんの？（とヒントを言う） S：○さんの。 T：正解！（拍手する） ・やり方を理解したら、全部の消しゴムを入れて誰の物か当てるゲームをする。 ・慣れてきたら、SとTの立場を交換して会話をする。	20分	○Sが知っている人の物（消しゴム等）を集めておく。中が見えない袋や箱を用意し、その中に入れておく。 ○『日本語学級1』P54～57 ○「みえこさんのにほんご」P25、26
本時の振り返り ・本時に学習した語彙や表現を復習する（「今日は○月○日○曜日天気は～です」等）。	5分	○本時で使用したカレンダーやカードなど

メモ

担任

14 体調を伝えよう

指導者 ()

学 習 活 動	時間	・留意点 ○教材例
前時の復習 ・今日の天気について前時を思い出しながら会話を する。天気に関する語彙の復習をする。	5分	○前時で使用したカレンダー ーやカードなど
<input type="checkbox"/> ①体の部分の名前が分かる 例 <input type="checkbox"/> 頭 <input type="checkbox"/> 目 <input type="checkbox"/> 鼻 <input type="checkbox"/> 耳 <input type="checkbox"/> 口 <input type="checkbox"/> 歯 <input type="checkbox"/> 首 <input type="checkbox"/> 肩 <input type="checkbox"/> 手 <input type="checkbox"/> 指 <input type="checkbox"/> 胸 <input type="checkbox"/> 足 <input type="checkbox"/> 背中 <input type="checkbox"/> お腹 <input type="checkbox"/> おしり T：(頭を手で押さえながら) あたま。 S：(Tのまねをして) あたま。 T：(目を指さしながら) 目。 S：(Tのまねをして) 目。 ・同様に体の各部分を手で押さえながら復唱する。 T：これは？ S：お腹。 ・同様に繰り返す。	15分	○「ちびむすドリル」 幼児知 育→文字・言葉・文カード →仲間の言葉(体・顔・手) ・慣れてきたらランダムに体 の各部分を押さえ、スピー ドを上げると楽しい。 ・手遊び歌「頭・肩・膝・ポ ン」(♪「ロンドン橋」の 替え歌)をするのもよい。
<input type="checkbox"/> ②「大丈夫?」「痛い」 「気持ち悪い」「熱がある」を言う ・イラストで「痛い」の意味を理解できるようにする。 T：(自分の腹を痛そうに押さえながら) お腹が痛い。 S：(Tのまねをして復唱する) お腹が痛い。 ・体の各部分で同様に言う。 T：(頭が痛い様子のイラストを見せて、心配そうな表 情で) 大丈夫？ S：(Tの問いに答え、会話をする) 頭が痛い。 ・イラストで、元気な時は「大丈夫」ということを理解 できるようにする。 ・続いて「気持ち悪い」「熱がある」を同様に言う。 ・慣れてきたら絵カードを裏返しにして一枚選び、選ん だ絵の状態に合った会話を する。 T：(心配そうに) 大丈夫？ S：(元気に) 大丈夫。	15分	○『にほんごを まなぼう』 P 2 2、2 3、3 4、3 5 ○「こどもの日本語ライブラ リ」→指導計画例→低・会 話編→1 1、1 2 (絵カー ド) ・こどもの日本語ライブラ リには、「体の不調すごろ く」があるので、休み時間 や授業前に復習しながら 遊んでもよい。 例 <input type="checkbox"/> 頭が痛い <input type="checkbox"/> 目が痛い <input type="checkbox"/> 歯が痛い <input type="checkbox"/> 足が痛い <input type="checkbox"/> 手が痛い <input type="checkbox"/> お腹が痛い
<input type="checkbox"/> ③「(学校を) 休みます」が分かる ・イラストで、休む時は学校へ電話連絡することを理解 できるようにする。 T：(電話する動作で) ～です。(学校を) 休みます。 S：(Tのまねをして) ～です。(学校を) 休みます。	5分	○「こどもの日本語ライブラ リ」→指導計画例→低・会 話編→1 3 (絵カード)
本時の振り返り ・絵カード等で語彙を復習しながら「大丈夫?」と聞か れたら、「歯が痛いです」「気持ちが悪いです」など、 体の不調を訴える会話を する。	5分	○本時で使用したイラスト や絵カードなど

メモ

15 時刻を伝えよう

指導者（ ）

学 習 活 動	時間	・留意点 ○教材例
前時の復習 ・体の部分の名前、体調の伝え方を復習する。	5分	○前時に使用したイラストや絵カードなど
<input type="checkbox"/> ①「同じ」「違う」を言う ・トランプの2枚のクイーンを見せ、「同じ」と言い、クイーンとキングを見せる時に「違う」と言って、意味を理解できるようにする。 ・神経衰弱ゲームをする。最初は4～5組を裏返しにし、Tが2枚表にする。同じ時は「同じ」とうれしそうに言って自分で取る。違ったら「違う」と残念そうに言ってカードを返す。 ・Sにもやるように促す。 ・カードをめくる時には、「同じ」「違う」を言うルールとする。 ・カードの枚数はSの力に応じて調整し、何度か神経衰弱ゲームをする。	17分	○トランプ ・数字のカードは数字で「同じ」「違う」と表すこととする。赤と黒が混じると、混乱する場合があるので、ゲームのときはどちらかだけにする。発達段階により、数字では同じと感じない場合は、形だけに注目できるようなカードを用意するとよい。 ○『日本語学級1』 P52、53
<input type="checkbox"/> ②「〇時」「〇時半」を言う ・数字の読み方を復習する。 ・時計を示し、「あれは何ですか」と質問し、「とけい」の言い方を確認する。 ・数を学習した時と言い方が違うものがあるので、はじめに4時、7時、9時以外の言い方を知る。次に4時、7時、9時の言い方を知る。 ・Tが「〇時半」を言い、Sが復唱する。 ・T「何時ですか」と質問した時の答え方を知り、模擬時計を使って会話をする。 ・「みえこさんのにほんご」P38のワークシートのような日常の動きと時計と一緒に描いてある絵を見る。 ・続いて「起きるのは何時ですか」と、時刻と動詞の関連を図る質問をする。 ・Tは動詞をやや強めに発音する。 ・時間があれば、動詞のみを復唱する。 例 <input type="checkbox"/> 起きる <input type="checkbox"/> 寝る <input type="checkbox"/> 行く <input type="checkbox"/> 帰る <input type="checkbox"/> 食べる <input type="checkbox"/> 始まる <input type="checkbox"/> 終わる	20分	・Sが時計を読める段階の場合に指導する。 ○模擬時計(算数セット) ○時計の読み方ワークシート(「ぷりんときっず」→算数プリント幼児～小学1年生→時計の読み方練習) ○「みえこさんのにほんご」P35～37 ○動詞カード ○「みえこさんのにほんご」P38 ○「ちびむすドリル」幼児知育→文字・言葉・文カード→文の練習→文カード ・ここでは、動詞を聞くだけで、今後動詞のみを取り上げた学習をする。
本時の振り返り ・本時に学習した「同じ」、「違う」などを復習する。	3分	○本時で使用した絵カードやトランプなど

メモ